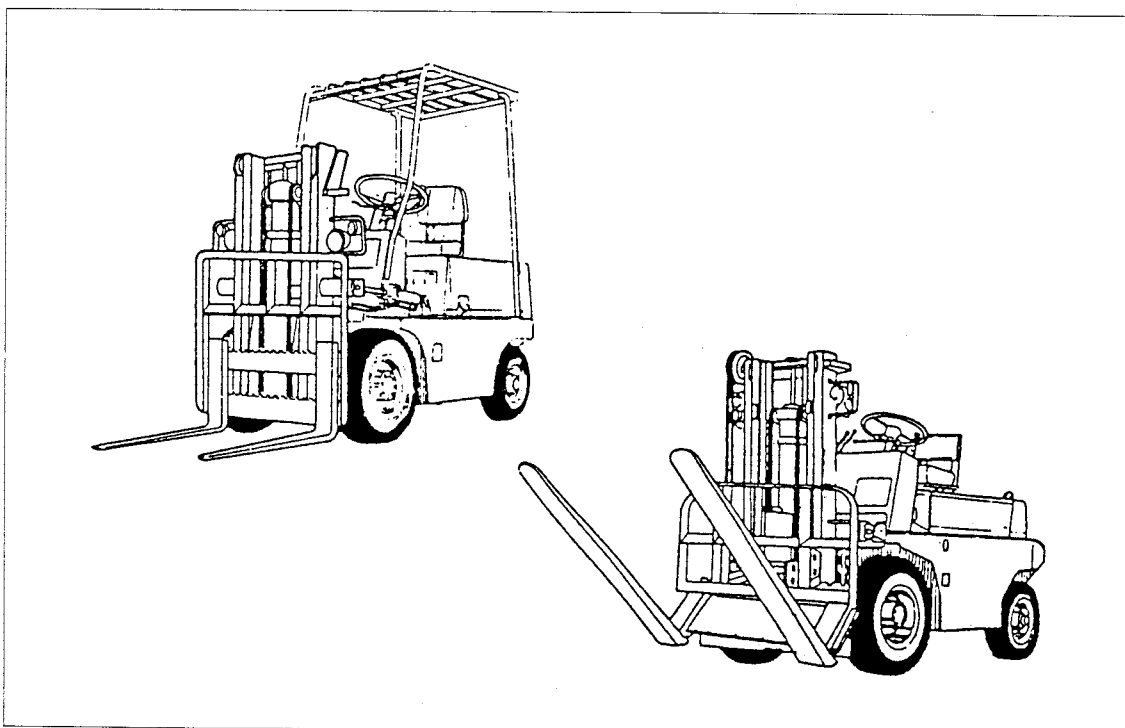


07** ●自動車

08** ●港湾



[コード番号080490から抜粋]

自動車関係

070190

農業機械整備技能検定実技テキスト

松本技能開発センター

●目次●

課題3 加工作業	1
作業に入る前の点検	2
面仕上げ	3
けがき	4
穴あけ	5
タップねじ立て	6
ダイスねじ立て	7
整理整頓	8
溶接	9
清掃	11
整理整頓	12
参考(溶接検査)	13

070291

排気ポンプ、噴射ポンプ教材

沖縄技能開発センター

070391

農業機械の構造 トラクタ

旭川技能開発センター

070492

自動車の加速性能シミュレーション

渡部展年 北海道立北見高等技術専門学院

●目次●

1. まえがき	1
2. 加速能力	
2-1 走行性能線図	1
2-2 余裕駆動力と加速度	2
2-3 限界加速度	3
3. シミュレーションの構想	
3-1 基本構想	4
3-2 グラフィック レイアウト	5

3-3 基本計算	5
3-4 プログラミング構想	6
4. エンジントルク曲線の近似式の求め方	
4-1 最小自乗法による近似二次関数の求め方	7
4-2 最小自乗法による近似二次関数式を求め るプログラム	8
4-2 エンジントルク曲線の特徴	9
4-3 実際の近似式計算	9
5. プログラム作成	
5-1 画面設定、タイトル	12
5-2 データ入力	12
5-3 性能線図枠作成	13
5-4 性能線図用文字挿入	14
5-5 走行抵抗線図作成	15
5-6 車速線図作成	18
5-7 駆動力線図作成	19
5-8 初期設定	20
5-9 限界加速度計算	21
5-10 発進加速時計算	24
5-11 通常加速演算	26
5-12 ギヤチェンジ時演算	29
5-13 画面表示用サブルーチン	30
5-14 最終データ表示	32
5-15 データ	33
6. シミュレーション画面	34
7. 発進加速シミュレーション	37

070590

ICレギュレータ・サブボード
取扱説明書

神奈川技能開発センター

070690

オルタネータ・トレーニングボード
取扱説明書

神奈川技能開発センター

070790

イグナイタ・トレーニングボード
取扱説明書

神奈川県技能開発センター

071294

海外研修生指導教材（中国語版）
（自動車の始動装置）

横浜高等職業技術校（神奈川県）

070890

セミコンダクタ・トレーニングボード
取扱説明書

神奈川県技能開発センター

071394

自動車の始動装置指導マニュアル

横浜高等職業技術校（神奈川県）

●目次●

1	概要	1
2	構造	3
	(1) モータ部	4
	(2) 動力伝達機構	7
	(3) マグネット・スイッチ	8
3	種類	9
	(1) 電磁ピニオン式	11
	(2) リダクション式	12
4	原理	13
5	作動	16
6	点検	20

070990

PGM-FIテキスト

神奈川県技能開発センター

071094

海外研修生指導教材
（自動車の始動装置）

横浜高等職業技術校（神奈川県）

●目次●

1	概要	1
2	構造	3
	(1) モータ部	4
	(2) 動力伝達機構	7
	(3) マグネット・スイッチ	8
3	種類	9
	(1) 電磁ピニオン式	11
	(2) リダクション式	12
4	原理	13
5	作動	16
6	点検	20

071194

海外研修生指導教材（英語版）
（自動車の始動装置）

横浜高等職業技術校（神奈川県）

港湾関係

080190

港湾概論 II

新保利夫 関西技能開発センター大阪港湾労働分所

●目次●

1. 国内貨物海上保険の概要	1
1) 国内貨物海上保険とは	1
2) 保険契約者と被保険者	1
3) 保険の目的と被保険者	1
4) 保険価格と保険金額	1
5) 担保危険	2
6) てん補の範囲	3
7) 保険期間	5
8) 保険料率	5
2. 保険契約の申込と引き受け	6
1) 申込の記入方法	6
2) 引き受け書の発行	7
3) 保険料の収受	7
4) 契約内容の変更	7
5) 保険特約書	7
3. 保険契約の申込と引き受け	8
1) 単純な貨物海上保険および一時保管を含む 貨物海上保険	8
2) 申込の一括受理方式	8
3) 期間建貨物海上保険	9
4) FOB保険	10
5) 運送人等の賠償責任担保保険	10
6) 損害賠償請求権放棄の保険	11
7) その他の国内貨物海上保険	11
4. 損害発生の場合の手続き	11
1) 損害が起きた場合の処置と損害の査定	11
2) 保険金(てん補金)の計算方法	12
3) 保険金受取の手続き	12
5. 貿易と貨物海上保険	13
1) 貿易取引における貨物海上保険の役割	13
2) 売買契約条件における国際規則	13
3) 売買契約条件の種類と貨物海上保険	14
4) 信用状と貨物海上保険	15
6. 外国貨物海上保険契約の概要	
1) 貨物海上保険契約	15
2) 保険の目的と被保険者利益	15

3) 保険価額と保険金額	16
4) 保険期間	17
5) 担保保険とてん補の対象となる担保保険	18
6) 協会貨物約款の保険条件	20
7) 戦争危険とストライキ危険	23
7. 保険金の支払について	24
1) 損害が発生した場合の処置	24
2) 損害の査定	25
3) 保険金請求の手続き	26
8. 貨物海上保険の申込手続き等について	31
1) 保険申込書の記入方法	31
2) 保険契約内容変更の手続きと保険証券の訂正	33
3) 保険証証券、保険承認状、保険料請求書	33
4) 予定保険契約	33
5) 保険料率	34
6) 保険金額と保険料	36
9. 各種特別約款の概要	36

080290

港湾概論III 国際海上コンテナ輸送論

森川 修 関西技能開発センター大阪港湾労働分所

●目次●

1. 海上コンテナ編	1
2. コンテナ船	30
3. コンテナの陸上輸送	61
4. コンテナターミナル	68
5. コンテナの積付	82
6. ターミナル業務	87
7. コンテナ輸送と検疫	89
8. コンテナリース	91

080390

港則法(港湾における法規)

池田紀久雄 関西技能開発センター大阪港湾労働分所

●目次●

1. 総則	2
2. 入出港及び停泊	4
3. 航路及び航法	13
4. 危険物	19
5. 水路の保全	21
6. 船燈および信号	23

7. 雑則25
 8. 罰則31

080490

港湾運送概論

森口 明他 港湾職業訓練短期大学校横浜校

●目次●

港湾のアウトライン、港湾行政、関税法、コンテナ扱い、
 港湾物流管理、荷役道具と荷役機械、免許・資格、船舶
 の概要、コンテナ輸送

080590

港湾荷役機械管理者の電気工学

森口 明他 港湾職業訓練短期大学校横浜校

●目次●

電気的基础

電気とは、電流・電圧・抵抗とは、電気回路とは、電
 流の働き、電気と磁気、電磁力、電磁誘導作用、交流
 回路、自己誘導作用、静電作用とコンデンサ、自動車
 の電気回路

荷役運搬機械の電気装置

クレーンの電気装置、クレーンの制御方式、クレーン
 の安全装置及び警報装置
 クレーンの保守、揚貨装置の電気装置、車両系荷役運
 搬機械の電気装置
 電気式フォークリフト

080690

港湾荷役実務

海文堂出版(株) 松橋幸一 港湾職業訓練短期大学校横浜校

●目次●

総説、基礎知識、基礎作業、揚荷の準備、揚荷役(1) 箱
 物、揚荷役(2) 特殊貨物
 積荷の準備、積荷役 (1)大型貨物、積荷役(2) 小型貨物、
 荷役中の事務
 揚げ積み以外の作業、荷役終了時、安全対策、新しい荷
 役方式、荷役計画演習

080890

港湾物流管理論

丘書房 松橋幸一 港湾職業訓練短期大学校横浜校

●目次●

港湾物流管理序説
 港湾荷役の変遷

港湾実務者の港湾情報処理

森口 明他 港湾職業訓練短期大学校横浜校

●目次●

情報と情報処理

情報処理とは、情報の本質、経営情報の重要性、情報
 利用の基本原則、経営情報の分類、情報分類の原則、
 情報と事務、意志決定と情報、計画的意志決定と情報、
 非計画的意志決定、経営階層と意志決定、意志決定の
 科学、情報価値の認識、情報価値の測定、情報評価上
 の留意点、情報の経済性測定、情報収集の基本と価値
 判断、情報の収集法、情報製作の基本、マスコミ情報
 の活用法、情報利用の限度、情報の合目的変換、情
 報源、個人と組織のための公的情報、個人と組織のた
 めの私的情報、機械による情報生産の方法、情報の点
 検、情報の分析、情報に関する主要文献

ターミナルと情報

ターミナル、情報処理とコンピュータ、人間とコンピ
 ュータ、コンピュータの5大機能、港湾と情報処理、港
 湾の物流情報システム、港湾管理運営と情報システム
 コンピュータと情報処理

コンピュータの歴史、パーソナルコンピュータの利用方
 法、コンピュータの利用分野、マイクロコンピュータの
 誕生、マイクロコンピュータの定義、マイクロコンピ
 ュータの構成

コンピュータの基礎

10進数と2進数、2進数を使用するのは、2進数の特徴、
 ビットとは、バイトとは、
 kB・MBとは、2進数を10進数に変換する方法、10進数を
 2進数に変換する方法、2進数の少数表示、2進数によ
 る四則演算、2進化10進法、8進数とは、16進数とは、マ
 イクロコンピュータの種類、論理回路とブール代数、デ
 ジタルIC、フリップフロップ回路、演算の仕組み、プ
 ログラム入門、コンピュータとは、プログラミングの実
 際、練習問題

湾岸荷役の荷役能率
 湾岸荷役の計数的観察と処理
 パレットボードと能率
 フォークリフト荷役
 フォークリフト・オペレータの技術管理
 荷役用具
 揚荷装置
 はしけ運送の現況
 コンテナの作業

080990

安全衛生管理（港湾）

西谷広文 関西技能開発センター大阪港湾労働分所

◆目次◆

1. 安全衛生管理のすすめ方 1
 2. 設備・環境の安全化 6
 3. 作業の安全化 20
 4. 作業環境と作業の管理 25
 5. 健康診断と健康保持増進措置 33
 6. 安全衛生教育の方法 44
 7. 作業の安全衛生意識の高揚 51
 8. 作業服装および安全用の保護具 56
 9. 整理整頓 61
 10. 災害調査 65
 11. 安全衛生関係法令 74

081092

物流実務者の港湾物流概論

小田切・森口・佐藤 港湾職業訓練短期大学校横浜校

◆目次◆

第1章 貿易知識
 [1] 貿易のしくみ 1
 (1) 輸出商談から契約まで 1
 (2) 船積と代金決済 1
 (3) 輸 入 2
 [2] 貿易に関する会社・団体・官庁 3
 (1) 貿易商社 3
 (2) 銀 行 3
 (3) 検査機関 4
 (4) 倉庫会社 4
 (5) 保険会社 4

(6) 海運会社（船会社） 5
 (7) 輸出組合 5
 (8) ジェトロ 5
 (9) 行政機関 5
 第2章 港湾の知識
 [1] 港の種類 7
 (1) 港湾の一般的分類 7
 (2) 港湾の法的分類 9
 [2] 港の施設 11
 (1) 基本施設と機能施設 11
 (2) 船舶運航のための施設 13
 (3) 船舶解泊のための施設 13
 (4) 貨物のための施設 13
 [3] 港湾産業 14
 (1) 港湾産業の概念 14
 (2) 港湾運送事業の概要 14
 (3) 一般港湾運送事業 15
 (4) 港湾荷役事業 16
 (5) その他の港湾産業 20
 第3章 会場運送の知識
 [1] 貨物の海上運送 23
 (1) 貨物の海上運送の特殊性 23
 (2) 船舶と港湾 23
 (3) 海運業 25
 [2] 貨物の海上運送手続 29
 (1) 用船契約と船荷証券 30
 (2) 船会社と代理店 30
 (3) 碇泊期間 30
 (4) 貨物の積取と陸揚 31
 第4章 船の知識
 [1] 船の要目 32
 (1) 船型および主要寸法 32
 (2) 貨物のトン数と船舶のトン数 35
 (3) その他の要目 37
 [2] 船舶の資格 38
 (1) 旅客船と非旅客船 38
 (2) 航行区域 39
 (3) 関税法上の船の資格 39
 (4) 国際航海に従事する船舶 39
 [3] 船舶の構造と乗組員 39
 (1) 船舶の種類 40
 (2) 貨物船の構成 40
 (3) 船舶の乗組員 40

[4] 貨物船の種類	41
(1) 一般貨物船	41
(2) 専用船	42
[5] 貨物船の積載設備	46
(1) 貨物船の構造	46
(2) 貨物艙の設備	47
[6] 貨物船の載貨能力	57
(1) 貨物積載量	57
(2) 理想的満載	58
(3) 貨物積載について	58
(4) 積付場所の明示のしかた	59
[7] 船積貨物および運賃	65
(1) 船積貨物の分類	65
(2) 貨物の包装	67
(3) 貨物の検量および検数	70
(4) 貨物運賃	72
[8] 船の安全と積荷	75
(1) 堪航性と積荷の関係	75
(2) 船体強度と積荷の関係	78
(3) 積荷の移動による危険	79
[9] 航路	80
第5章 貨物の知識	
[1] 貨物の種類	82
(1) 貨物の分類	82
(2) 海運業者の分類	84
[2] 包装の荷印	84
(1) 主マーク	84
(2) 副マーク	85
(3) 品質マーク	85
(4) 仕向地マーク	85
(5) 注意マーク	86
[3] 荷姿	86
[4] 件数の知識	88
(1) 件数業務	88
(2) 件数に必要な知識	88
[5] 貨物事故	89
(1) 貨物事故と件数事故	89
(2) 貨物事故の種類	89
(3) 損傷事故の原因	90
(4) 荷役状況の注視	90
[6] リマーク	90
(1) Genral Remark	91
(2) Conditional Remark	91

第6章 荷役の知識

[1] 荷役の基礎知識	101
(1) 船内荷役作業	101
(2) 海務監督	101
(3) 船内作業主任者	107
[2] Cargo Stwage Plan	110
(1) Stwage Planの種類	110
(2) Cargo Stwage Planの役割	110
(3) Stwage Planの記入方法と見方	111
(4) 記載内容について	111
[3] 安全作業の基礎知識	113
(1) 職場に臨む前に	113
(2) 海上作業	113

第7章 コンテナ輸送の知識

[1] コンテナ輸送	116
(1) コンテナ船	116
(2) コンテナターミナル	117
(3) コンテナターミナルの荷役方式	117
[2] コンテナ輸送システム	120
(1) C L 貨物	120
(2) L C L 貨物	120
[3] コンテナの各部名称、構造、種類	123
(1) コンテナ各部名称	123
(2) コンテナの種類	123
[4] コンテナの記号および番号の見方	129
(1) 所有者の記号、番号、チェックディジット に関するコード	129
(2) 国籍コード	130
(3) コンテナの大きさによる種類、形式に関する コード	130
[5] コンテナ積載位置の表示	130
(1) BAY No.	131
(2) SLOT No.	132
(3) TIER No.	132
[6] コンテナ荷役実務	134
(1) VANNING作業	134
(2) DE-VANNIG作業	136
(3) 本船一貫作業の作業手順	137
(4) コンテナマーク	139
(5) コンテナ貨物のリマーク	143
[7] コンテナ用語	146

物流実務者の物流情報処理

小田切・森口・佐藤 港湾職業訓練短期大学校横浜校

●目次●

第1章 情報

1 情報 1

1.1 情報の定義の機能 1

1.2 情報の経営思想 2

1.3 コンピュータの発展と動向 3

2 情報化の動向 5

2.1 情報化と通信技術の動向 5

2.2 情報ネットワーク化の動向 7

第2章 情報機器

1 情報機器 9

1.1 入力方式 9

1.2 中央演算処理装置と補助記憶装置10

1.3 出力装置11

2 物流を支える情報関連機器11

2.1 情報処理機器の用途分類と種類11

2.2 主な情報処理機器の内容14

2.3 情報通信システム16

第3章 ソフトウェアとデータ処理

1 プログラム24

1.1 システム・プログラム24

1.2 ユーティリティ・プログラム24

1.3 アプリケーション（適用業務）・プログラム24

1.4 プログラミング言語25

2 ファイルとデータベース26

2.1 データ・ファイル26

2.2 プログラム・ファイル27

2.3 プロシージャ・ファイル27

2.4 ファイルのアクセス27

2.5 データ・ベース27

3 処理方式27

3.1 バッチ処理27

3.2 オンライン処理27

3.3 オンライン・バッチ処理28

3.4 多重処理28

第4章 データ通信

1 データ通信の基本29

1.1 データ通信の基本要素29

2 データ通信システムの構成要素 29

2.1 端末装置29

2.2 通信回線系装置30

2.3 通信制御装置31

2.4 通信回線31

3 データ通信システムの基本的処理形態33

3.1 データの伝送・入力方式33

3.2 情報の処理方式33

4 データ通信システムの利用形態34

4.1 データ収集システム34

4.2 メッセージ交換システム34

4.3 照会応答システム34

4.4 取引即時処理システム35

4.5 遠隔ジョブ入力システム35

4.6 タイム・シェアリング・システム35

第5章 VANシステム

1 VANの基本36

1.1 VANの構成と機能36

1.2 VANシステムの類型37

2 VANの利用形態とVANシステム38

第6章 高度情報通信システム

1 高度情報通信システム39

2 ニューメディア39

2.1 ニューメディアの体系と種類39

2.2 INSの実験とINSシステム40

第7章 物流情報システム

1 物流情報システム42

1.1 物流意思決定支援システム42

1.2 流通における物流情報システム43

2 荷主物流の情報システム47

2.1 100万点部品の24時間配送を支える
コンピュータネットワーク47

2.2 人・物・機械を統合する情報システム51

2.3 物流の共同化をはぐむ情報システム55

3 物流業の情報システム60

3.1 JR貨物のコンテナ情報システム
(EPOCS) 60

3.2 宅配便の情報システム61

3.3 内航海運の物流情報システム62

3.4 港湾の物流情報システム64

3.5 港湾管理運営と情報システム68

3.6 倉庫業の物流情報システム76

3.7 国際物流の情報システム77

4 物流業界における情報化の動向83

4.1 陸運関係83

4.2 海運関係84

4.3 航空関係86

4.4 荷主企業86

5 国際貿易に関する共同利用の情報ネットワーク動向88

5.1 SHIPNETS88

5.2 S.C. NETとS.F. ネット89

5.3 海上貨物通関業務の電算化について90

5.4 NACCS91

第8章 システム設計

1 システム設計の基本92

1.1 システム設計の方法論92

1.2 帰納法的システム設計の基本92

1.3 演繹的システム設計の基本93

2 物流情報システムの概要94

2.1 物流における情報化の特徴的事項94

2.2 多品種少量生産を支える荷主物流の情報化96

2.3 高速物流を支える物流業者の情報化98

2.4 物流センターの情報化100

2.5 SIS (戦略的情報システム)104

2.6 物流に関するパッケージソフト105

081293

港湾機能の課題と展望

富田 功 港湾職業能力開発短期大学校横浜校

●目次●

第1部 港湾経営問題と基本的課題

第1章 港湾管理・運営の基礎的問題
～その経済的側面を中心として～

1 問題意識2

2 港湾管理・運営の基本的性格3
～港湾管理者財政に関連して～

3 港湾管理・運営機能の問題点5

第2章 港湾管理・運営制度の基礎的問題と課題
～港湾における公企業経営論序説～

1 問題意識9

2 港湾管理・運営制度の問題点10

3 港湾経営の意義と目的13

4 港湾経営の基本構造15

5 港湾経営の課題17

第3章 港湾経営の特質と基本的課題

1 問題意識21

2 港湾経営の特質22

3 港湾運送機能の特色と問題点28

4 新たな港湾機能対策をめぐる課題31

第4章 港湾経営をめぐる本質的課題と展望
～港湾経営と公共の利益に関連して～

1 問題意識33

2 港湾経営の基本原則34

3 港湾経営をめぐる本質的課題37

4 港湾経営とその態勢整備40

第2部 港湾労働問題と基本的課題

第5章 港湾労働問題と課題

1 問題意識44

2 港湾労働の基本的性格45

3 港湾労働の現状と問題点49

4 港湾労働対策をめぐる課題57

第6章 港湾労働をめぐる福利厚生対策

1 問題意識58

2 港湾労働をめぐる基本的問題と課題60

3 港湾福利厚生対策の現状と問題点62

第7章 港湾福利厚生対策の基本的課題と展望

1 問題意識67

2 港湾運送事業と港湾労働の基本的変化67

3 港湾福利厚生施設の利用条件の変化69

4 港湾運送事業と港湾労働の課題69

5 港湾福利厚生対策の意義と基本的性格71

6 今後の港湾福利厚生対策75

第8章 港湾労働災害問題と基本的課題

1 問題意識77

2 技術革新と港湾の変貌77

3 港湾労働災害の現状と問題点78

4 港湾労働災害防止対策をめぐる課題84

第3部 港湾運送事業問題と基本的課題

第9章 港湾運送事業の基礎的問題と課題
～主として港湾労働福祉をめぐる費用負担との関連において～

1 問題意識90

2 港湾運送機能の基本的性格90

3 港湾運送事業の特質93

4 港湾運送事業経営の諸条件と課題96

第10章 港湾運送事業料金の現状と将来

1 港湾運送事業料金の基本的性格100

映像で見る輸送（ビデオ用シナリオ）

佐藤、小田切、串田 港湾職業能力開発短期大学校横浜校

2 港湾運送事業料金の決定原則Ⅰ ……………105
 ～港湾運送事業料金形成原理～

3 港湾運送事業料金の決定原則Ⅱ ……………115
 ～受益者負担の原則～

4 今後の港湾運送事業料金 ……………118

第11章 港湾運送事業の展開と基本的課題
 ～コンテナ化時代に関連して～

1 問題意識 ……………119

2 港湾運送事業の基本的性格の変化 ……………119

3 港湾運送事業の実態と問題点 ……………122

4 港湾運送事業の経営戦略と基本的課題 ……………129

第12章 港湾運送事業経営の変貌と企業経営戦略

1 問題意識 ……………132

2 経営多角化の意義と特質 ……………133

3 経営多角化時代の港湾運送事業 ……………136

4 港運経営戦略と問題点 ……………142

5 港運経営の変革と展望 ……………146

第4部 港湾機能の変貌と課題

第13章 港湾における変貌と課題

1 問題意識 ……………148

2 港運業の特質 ……………148

3 公益事業としての港運業 ……………152

4 港運業の経営構造 ……………158

5 港運経営基盤の変貌 ……………162

6 今後の港運業の方向 ……………167

第14章 港湾都市・地域の基本的問題と課題

1 問題意識 ……………168

2 港湾の役割と基本的問題 ……………168

3 コンテナ化、国際化時代の港湾の変貌 ……………173

4 「港経済」の変貌と諸問題 ……………179
 ～横浜港に関連して～

5 港湾都市・地域の課題と展望 ……………186

第15章 港湾のパラダイム転換と課題
 ～港湾と港湾機能の態勢整備に関連して～

1 問題意識 ……………188

2 港湾と港湾機能の態勢整備をめぐる基本的性格と
 問題点 ……………189

3 港湾における新しいパラダイムの確立 ……………193

4 新しいパラダイムの特質 ……………195

5 港湾のパラダイム転換と課題 ……………198

索引 ……………201